

選挙改革



たかはしいさお
高橋功人 議員
が町に問う！

選挙管理委員会へ働きかけを

【答弁】 具体的な資料を提示していきます

Q 投票所やポスター掲示場所の変更は、地域の実情を踏まえて行われているが、近年、当町で大きく変化していることは何か。

A 総務課長 第1に人口減少と高齢化の進行です。第2に期日前投票制度の普及により期日前投票の利用者が大幅に増加しています。

Q 近隣市町の見直し状況は。

A 総務課長 東松山市・滑川町では、特定地域の人口増に対応するため、投票所やポスター掲示場を増設しています。嵐山町・とさかわ町では、人口減少等による投票所間の選挙人の数の均衡を図るため、投票所やポスター掲示場を削減しています。このように、近隣自治体においては、様々な対応がなされています。

Q 当町でも、現状の選挙全体の

見直しを図るため、選挙管理委員会に働きかけていくべきでは。

A 総務課長 事務局としては、時間帯別投票状況などの実態調査を分析し、先進事例を調査研究、経費削減効果の試算、有権者への検証など具体的な資料を提示していきます。

●その他の質問
・全重協「秀作展」の準備は



投票率向上に資する改革を

ハイキング



かさはらのりひろ
笠原規弘 議員
が町に問う！

積極的なコースの拡充策を

【答弁】 必要な投資を検討します

Q コースの管理状況は。

A にぎわい創出課長 行政区等に歩道の草刈り、トイレやあずまの清掃を実施してもらっています。大きな樹木は、町が業者に撤去作業を委託しています。

Q 駅や道の駅等にコースマップが設置されていないが。

A にぎわい創出課長 通信状況が不安定な山の中ではハイカーが不安になるため、紙のマップを充実させ、設置場所を拡充します。

Q 山から降りてきた方が町内の営業中の店を探している光景をよく見る。観光ハイカーや町内事業者への情報提供のために、簡易カウンターの設置とデータの公表を。

A にぎわい創出課長 民間事業者への有益な情報提供になると考えます。先進地の皆野町の問い合わせ



登山口に設置された簡易カウンター

わせ、設置を研究します。

Q 民間事業者が安心して投資できるよう、町が先頭に立つてハイキングコースの拡充策をすべきではないか。

A 町長 ハイキングコースは町の貴重な観光資源であるとともに、町民の健康増進に寄与するものです。活用してもらえよう適切な管理と必要な投資を検討します。

映像発信



いなむらじょうじ
稲村穰治 議員
が町に問う！

映像発信活用の検討は

【答弁】 大切な手段であると認識しています

Q シティプロモーションの観点で、映像発信の活用について町はどのように考えているか。

A にぎわい創出課長 映像発信は、町のPRやブランド価値創造のための大切な手段であると認識しています。戦略的な視点を持って取り組みたいと考えています。

Q 戦略的な視点とは。

A にぎわい創出課長 目的を明確にし、対象は誰なのか、例えば、「若年層なのか」「子育て世代なのか」。これに応じた適切な手段としてどんな媒体を選定するか、このような視点を持つことと捉えています。

Q 映像発信でシティプロモーションを行う特化型の地域おこし協力隊員募集の検討は。

A にぎわい創出課長 現場に密



映像発信を活用してまちに「にぎわい」を

防災DX



ただよしなり
田端良成 議員
が町に問う！

当町の基本的な考え方は

【答弁】 町民の安全・安心の確保に重要です

Q 防災DXについて、当町の基本的な考え方は。

A 防災地域支援課長 町民の安全・安心を確保するため、防災DXは、災害時における情報伝達の迅速化、受付業務や避難者管理の効率化、さらには物資の適切な配給に対して、極めて重要だと考えています。

Q 現在、防災時に当町が利用できるデジタル技術はあるか。

A 防災地域支援課長 一例ですが「埼玉県災害支援オペレーション支援システム」を活用しています。ホワイトボードや電話を中心とした対応ではなく、現場との情報共有の効率化と、的確な意思決定を支える仕組みとして、活用しています。



被害状況が一目でわかる支援システム

が重要であると捉えています。



小川町議会だよりは

見出しに「ダフル」

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

体育が楽しみです。走ることが好きです。(なぎさん)

図工でいろいろなものを作ることが楽しみです。(こはるさん)

勉強が楽しみです。さんずうが好きです。(えいたさん)

みんなと遊ぶことと学童が楽しみです。(さなさん)